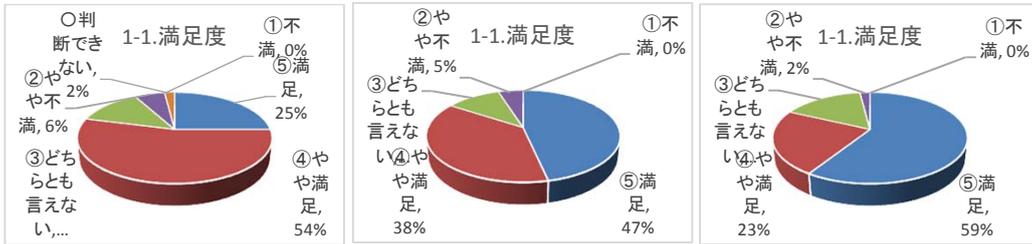


第11回  
オリンピック記念青少年C

第10回  
早稲田大学理工学部

第9回  
統計数理研究所

1. シンポジウムの満足度



満足、やや満足を合わせると、昨年とほぼ同じ傾向ではあるものの、満足が少なくなっているのは、A会場とB会場が離れていたことや、発表の内容が期待値を下回ったと感じた方の増加が大きな原因であると言えるだろう。

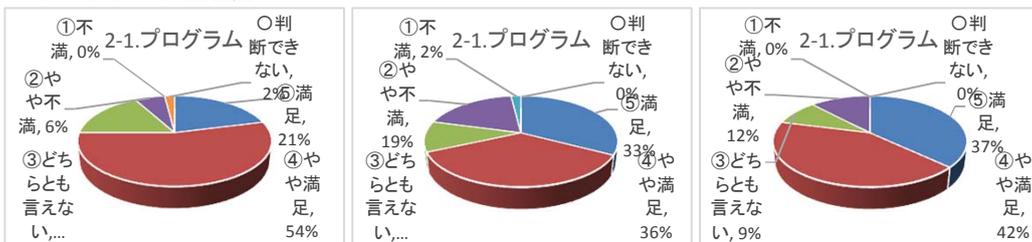
[満足]

- 1) 推進、教育、実績面をバランスよく聞いた。
- 2) 他社の取り組みを知ることができた。
- 3) フランクな意見交換がある。
- 4) 発表が25分と回転が良い(聞き手)。
- 5) テーマが自分にとって密接だったから。
- 6) チュートリアル、特別講演、基調講演などが大変参考になった。

[不満]

- 1) A会場、B会場が離れすぎている。
- 2) 発表の質が、やや低い。自分自身の欲しい情報テーマが少ない。
- 3) 具体的事例が少ない。
- 4) 発表が25分と短か過ぎる(発表者)。
- 5) AB会場が遠かった。2日目の昼休みが長すぎた。

2. プログラムの満足度



全体の結果と同様、満足が減り、やや満足が増加している。内容の濃い発表などで、発表時間の不足感が出てきている可能性があり、検討する価値がありそうである。また、昼休みとポスターセッションの時間は改善の必要があるようだ。

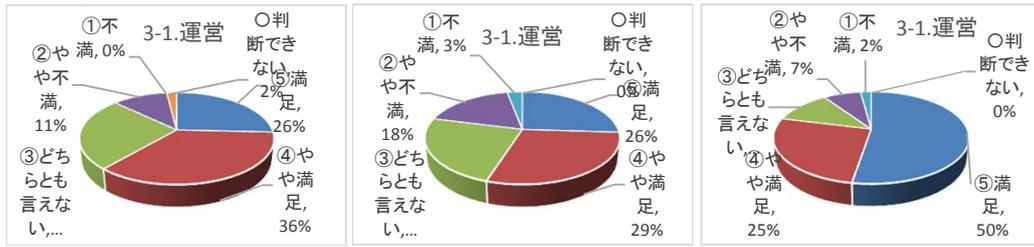
[満足]

- 1) 参加型(オープントスク)が良かった。
- 2) 企業の例が多く聞いた。
- 3) 発表も見やすく聞きやすかった。ポスター会場は広かった。
- 4) ゆっくり意見交換ができた。少人数だったこともある。
- 5) チュートリアルで概要を知ることができて良かったです。

[不満]

- 1) 2日目の昼休みが長い気がした。
- 2) 発表時間が短い。少なくとも30分発表5分質問くらいが良い。
- 3) 具体的事例が少ない。
- 4) 細かい文字でみにくかった。
- 5) ポスターの説明はもう少し時間を区切って短く回数多くした方が良い。
- 6) 1人の発表時間が少し短い気がします。時間内に全て語りきれてなかったので。
- 7) ポスターセッションの時間は回りやすいように、時間を設定した方がよかったと思う。他の方の発表がいつ始まるかわからず、移動のタイミングが分からなかった。

### 3-1.運営



前年とは同傾向となった。会場設備などの問題でカバーしきれなかった点で多くの指摘があったものと思われる。

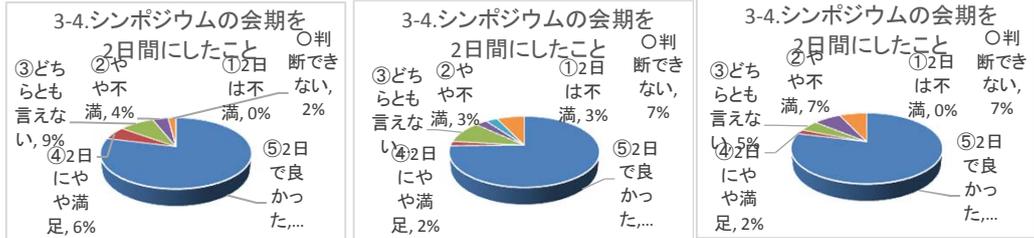
#### [満足]

- 1)早い対応。
- 2)ポスターへのサポートありがとうございました。
- 3)USBでのデータ配布。

#### [不満]

- 1)昼食の場所を案内して欲しかった。
- 2)議事進行は1人の人に任せて行った方が良い←誰が話すのかわからなかった。
- 3)準備のバタバタ感アリ。
- 4)コンセントが少ない。
- 5)A会場のプロジェクト表示において、一箇所(中央左側)のみ四角のグレー色の小さな影が映っているため、スライド表示が見辛かった(気になった)。
- 6)終了後にA会場に移動する際、所々に案内板(仮設)があると良い。特にA会場の2Fから1Fに行く案内があると助かる。

### 3-4.シンポジウムの会期を2日間にしたこと



2日で良かったという意見が大半ではあり、現実的な選択のようであるが、その制約の中で価値を高める工夫も必要であることを感じさせる意見があった。今後の課題としたい。

- 1)2日間でも、もっと内容は豊かにして欲しい。
- 2)3日間では参加しにくい(業務多忙のため)。
- 3)3日間は長い。但し、A/B会場どちらも聞きたいテーマがある時は残念。
- 4)シンポジウムは年1回なので、他の企画で補って欲しい。

### 3-5.来年の会場の希望



当日はお忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。頂きましたご意見につきましては、真摯に受け止め、よりよいシンポジウムが開催できる様、努力して参ります。